

「赤ちゃんって、やわらかい」

西胆振の高校生 看護体験



「ふれあい看護体験」で赤ちゃんを見つめる高校生たち

製鉄記念室蘭病院

高校生が看護師の仕事に触れ、職業選択の参考にしようという「ふれあい看護体験」が4日、製鉄記念室蘭病院(知利別町)で開かれた。

毎年開催しており、今回は西胆振の高校8校から、2、3年生16人が参加した。2〜7階の病棟ごとに2、3人ずつ配置。看護師らと一緒に入院患者の洗髪や足浴などを体験した。

このうち、産婦人科の病棟では生後6日目の赤ちゃんの沐浴を見学。参加者は助産師が手際よく産着を脱がせ、頭や体を洗う様子を興味深そうに見ていた。その後、実際にバスタオルで赤ちゃんの体を拭き、専用ブラシで丁寧に髪の毛をとかした。室蘭栄高3年の野田伶那さんは「赤ちゃんは

やわらかくてかわいかった。自分も助産師や看護師の道に進みたいと強く思いました」と話した。

(芝垣なの香)

◆自治体財政の基礎講座

【登別】自治体財政の基礎を学ぶ連続講座「登別財政塾(NOBZAIIIノボザイ)」が9月から来年1月までの計4回、市内で開催される。

難解な自治体財政を初歩から学んでもらおうと、市議会や市職員の有志が初めて企画した。講師は北海道財務局専門調査員の山田祥夫氏。実際の市の財政データを教材にして、専門知識や分析力を身に付ける。

定員約20人で参加費3千円。初回は9月19日午後1時から会場未定。希望者は今月14日までに事務局の辻市議 ☎090・1713・0729に申し込む。